

行 政 報 告

第3回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、7月28日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額30億4,987万7千円から基準財政収入額7億1,838万3千円、調整額137万5千円を控除した23億3,011万9千円が交付額となり、前年度と比較して1.1パーセント、2,582万2千円の減となりました。

次に、開礎150年・町制施行80年記念事業関係について申し上げます。

本記念事業では、「長万部町開礎150年・町制施行80年記念誌」を作成中であり、行事としては、おしゃまんべ毛がにまつりに協賛し、8月10日には記念花火大会が盛大に実施されております。

また、11月1日には学習文化センターにおいて、記念式典の開催を予定しております。

次に、ＪＲ北海道による中ノ沢駅の廃止提案について申し上げます。

ＪＲ北海道では、令和6年3月のダイヤ改正に合わせ、利用者数の極端に少ない中ノ沢駅の廃止について検討がされております。

このことから、地域住民のみなさまのご意見やご要望を把握するため、6月17日に中の沢振興会館において「ＪＲ中ノ沢駅の存廃に関する説明会」を開催いたしました。説明会には、中ノ沢地域の方々に多数参加いただき、現在の中ノ沢駅の利用状況や存続させるためには町が経費を負担し、維持管理することが必要なことなどを説明させていただきました。

参加者との意見交換では、今後の設備の老朽化による更新費用など将来的な町の負担も見込まれることから、町が維持管理をして駅を存続させることは極めて困難であり、駅の廃止はやむを得ないとの認識を共有するとともに今後の方向性を確認したところであります。

町としては、これらを踏まえＪＲ北海道と中ノ沢駅の廃止に向けた手続きを進めるとともに、廃止後の代替交通手段など地域住民の足を守るための方策を検討してまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では５つのトンネル工事が施工中で、８月１日現在において、立岩トンネルのルコツ工区と豊野トンネル、国縫トンネルは掘削を完了し、残る覆工などを施工中であり、残りの掘削中のトンネルについて、立岩トンネルの豊津工区では、本坑２，０６５メートルのうち１，８３４メートルが、豊野トンネル外１箇所では、幌内トンネルに既に掘削済みの豊野トンネルを含めた延長とはなりますが、本坑２，１６５メートルのうち１，７４０メートルを掘削中であります。

また、内浦トンネルの静狩工区では、本坑５，５７０メートルのうち３，７９０メートルが掘削されております。

さらに、地上部の明かり区間の工事につきましては、平里高架橋の工区では、高架橋の基礎の工事を施工中であり、そのほか、国縫高架橋、花岡高架橋、中ノ沢高架橋、栄原高架橋、共立路盤、静狩路盤の工区では、工事の準備を行っているところであります。

次に、新幹線長万部駅前周辺整備について申し上げます。

町では、平成３０年策定の「長万部まちづくりアクションプラン」の提言や、令和３年策定の「長万部都市計画マスタープラン」の方針として、長万部駅の東西を結ぶ自由通路の整備を目指し、令和３年度に基本計画を作成し、整備に向けて関係機関との調整を進めてまいりましたが、ＪＲ北海道から８月１日に、自由通路の設置について同意する旨の回答を文書でいただきました。

このことから、自由通路につきましては、現在の駅舎を除却し、その位置から高砂町側の新幹線長万部駅方向に整備することが確定いたしました。

また、ＪＲ北海道からは、新幹線長万部駅から在来線のホームを結ぶ新たな旅客通路を自由通路に併設して整備する方向で検討している旨の説明があり、新たな新幹線長万部駅と駅を中心とした都市施設の「かたち」が少しずつ固まってまいりました。

次に、都市計画道路の変更について申し上げます。

本年４月に道道昇格した本町通につきましては、北海道の道路拡幅と東口駅前整備を見据えて、駅前から国道５号・３７号交点に至る延長６４０メートルの区間について、幅員を１２メートルから１８メートルに変更すること、東口駅前広場を区域に追加することなどを内容とした都市計画道路の変更案を取りまとめました。

この変更案について、８月７日にあつまんべで１１名の方のご出席をいただき住民説明会を開催し、８月８日の長万部町都市計画審議会においてご了解いただいたところであります。

今後、北海道の都市計画審議会での議論が必要になることから、関係する事務手続きを進めてまいります。

次に、広域自治体連携の取組について申し上げます。

長万部町と黒松内町、豊浦町で構成する「はしっこ同盟」と生活協同組合コープさっぽろとの間で、住民サービスの向上及び地域社会の安全・安心の確保や活性化を目的とした包括連携協定を７月１４日に締結いたしました。

この協定に伴い、現在、販売店舗がない地域にコープさっぽろの移動販売車「おまかせ便カケル」を運行できるかの協議を進めているところであり、関連する移動販売車の実証運行の実施に係る補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、令和５年度の１年間は、特例臨時接種を継続し接種を行うこととされ、重症化リスクが高い方等への「春開始接種」は概ね終了し、現在は、初回接種を終えた生後６か月以上のすべての方を対象とした「秋開始接種」の準備を進めており、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、地域敬老会について申し上げます。

地域敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度、令和３年度は開催をお願いできておりませんでした。今年度も昨年度と同様に、地域のみなさまの手作りにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため地域敬老会を開催する場合、又は地域敬老会開催の代替として記念品等を配布する場合でも補助金を交付することとし、各町内会等へお願いいたしました。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の飼養に不可欠な飼料作物の牧草は、８月１５日現在の生育状況調査では、２番草収穫作業が平年よりも２日早く進み、サイレージ用とうもろこしの生育状況も平年より５日早く進んでおります。

生乳生産の１月から７月末までの出荷量は５,３５０トン、乳代は５億８８３万円となっており、前年同期と比較して出荷量は９８トンの減少となりましたが、乳代は２,１５０万円の増額となりました。

黒毛和牛の１月から７月末までの販売頭数は１２１頭、販売金額は７,３１９万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は２頭の減少となり、販売金額は１,４５５万円の減額となりました。

また、酪農畜産農家が使用する配合飼料等の価格がウクライナ情勢の長期化により高止まりとなっていることから、支援方策として酪農畜産経営支援に関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区 15.5 ヘクタール、平里地区 3 ヘクタール、富野地区 3 ヘクタールを 8 月 1 日に完了しております。

森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区 20 ヘクタールを 7 月 12 日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、令和 6 年 2 月 29 日までの工期で施工中であります。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係全体の 1 月から 7 月末までの水揚げ実績は約 50 億円となっており、前年同期と比較して約 3 億円の減額となりました。

このうち、ホタテ貝の生産量は 12,573 トン、前年同期と比較して 21.3 パーセント減少しております。また、水揚げ実績では約 49 億円、前年同期と比較して約 5 パーセント減少しております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、6 月から投入した採苗器には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き、岸壁等の補修工事が開始されており、静狩漁港につきましても同事業にて昨年度に引き続き東防砂堤延伸工事が施工されております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

商工観光全般においては、長期に及んだ新型コロナウイルス感染症の影響に加え、国際情勢の変化、エネルギーや原材料等の価格高騰が円安基調と相まって、事業者の経営環境はこれまで以上に厳しい状況が続いております。その支援方策として、昨年度に引き続き、商工会員の経営の安定化や経営の改善等を図るため、商工事業者経営改善等支援事業を実施したところ、本年度は18事業者が申請し、そのうち11事業者が採択となり、経営改善に努めております。

なお、本事業につきましては、地方創生臨時交付金を活用する予定となっております。

商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、7月1日、2日に4年ぶりの開催となりました。両日とも天候にも恵まれ、町内の方はもとより、町外からも大勢の来場があり、約1万3,000人の来場をいただき、毛がに早食い競争をはじめとする各種イベントで大いに盛り上がりました。販売用毛がには、オオズワイガニの大量発生の影響による不漁のため、数量確保が困難な状況にありましたが、関係機関のご尽力により、例年より高い単価となりましたが、十分な数量を販売することができました。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおり、今年度は8月に道内の高等学校5校による剣道の合宿が行われ、延べ114人の方が宿泊されました。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅はまなす第3団地非常灯交換工事は8月1日に完了しております。町営住宅（仮称）新南部団地建設工事は、第1工区の造成道路外工事、第2工区の住棟建設工事は12月8日までの工期で施工中であります。また、来年度実施を予定している住棟建設工事の実施設計業務委託は、令和6年1月31日までの工期で実施中であります。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、ポロナイ川調査設計業務委託は8月31日に完了しております。田尻川調査設計業務委託及び町道佐渡ヶ島線調査設計業務委託は10月31日まで、橋りょう点検業務委託は令和6年1月31日までの工期で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は11月17日まで、道路排水等清掃業務は11月30日までの工期で実施中であります。その他、道路、側溝等の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。また、昨年8月16日の大雨により被害を受けた町道浅見線につきましては、8月31日に復旧工事を完了しております。

公園事業では、都市公園施設劣化度調査業務委託を10月31日までの工期で実施中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

長万部地区浄水場送水ポンプ修繕工事は、令和6年2月15日までの工期で施工中であります。

また、上水道静狩地区浄水施設さく井工事は、12月15日までの工期で施工中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱外来を継続して開設しております。

町内での感染拡大時には、診療体制を整えるため、一部外来診療を休診するなど、随時対応してまいりますので、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

次に、消防関係について申し上げます。

7月末までの火災件数は1件で、枯れ草火災が発生しております。

救急件数は207件で、急病が89件、交通事故が14件、一般負傷が25件、その他転院搬送などが79件で、ドクターヘリによる搬送は4件となっております。

8月5日、消防庁舎前において、消防団や危険物安全協会、社会を明るくする運動推進委員会の協力のもと、4年ぶりとなる「おしゃまんべ消防フェス2023」を開催し、町内外から143名の参加者が、消防車の体験乗車や消火器の操作、応急手当などを体験されました。

終わりに、本定例会に提案した議件は、条例の一部改正、各会計補正予算、各会計決算認定など20件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。